

申請書【記載例】

☐の中はすべて記入してください。

別記様式第一

(整理番号 令和5年 号)

被害回復給付金支給申請書	
山形地方検察庁 検察官 殿	
令和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日	
フリガナ	ホウ ム タ ロウ
申請人 氏名又は名称	法 務 太 郎 (印)
生 年 月 日	昭和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日 (〇〇 歳)
住 所	(〒〇〇〇-〇〇〇〇) 〇〇県〇〇市〇丁目〇番〇号 〇〇アパート〇号室
	(電話番号又はファクシミリ番号) (自 宅 番 番) 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇
フリガナ	
代表者又は管理人 氏 名	
生 年 月 日	(〒 -) 年 月 日 (歳)
	(電話番号又はファクシミリ番号) - -
フリガナ	
代理人 氏名又は名称 (法定代理人又は弁護士)	
生 年 月 日	(〒 -) 年 月 日 (歳)
	(電話番号又はファクシミリ番号) - -
次のとおり被害回復給付金の支給を申請します。	
被害者	被害にあった者は <input type="checkbox"/> 申請人 (被害者欄の下記事項についての記入は不要です。) <input checked="" type="checkbox"/> その他の者 (被害者欄の下記事項につき記入してください。)
フリガナ	ホウ ム サ 三 郎
氏名又は名称	法 務 三 郎
生 年 月 日	昭和 〇〇 年 〇 月 〇〇 日 (〇〇 歳)
住 所	(〒 〇〇〇-〇〇〇〇) 〇〇県〇〇市△△〇〇番地〇
一般承継人	一般承継の理由 令和 〇〇 年 〇 月 〇〇 日 法 務 三 郎 逝去 により承継した。
	及びその年月日
	被害者との関係 長 男
支給手続番号	山形地方検察庁 令和5年第 2 号
被害にあわれた年月日時	別紙のとおり
被害にあわれた場所	別紙のとおり
犯人の名前又は団体名	別紙のとおり

申請書作成日を記入

○申請人記入欄

被害に遭った本人が記入 (自署)・押印してください。または一般承継人 (下記※参照) が記入・押印してください。

日中、連絡の取れる電話番号を記入してください。

どちらかに必ず「✓」してください。

申請される方が

- 被害者本人の場合 「申請人」に「✓」
- 一般承継人の場合 「その他の者」に「✓」
- 代理人の場合 「申請人」に「✓」

○一般承継人記入欄

被害者の一般承継人 (下記※参照) が申請される場合は、記入してください。

同封の「別紙被害状況」に記入してください。

(用紙 日本工業規格 A 4)

代理人によって申請する場合は、「申請人」欄の記載に加え、「代理人」欄に記載してください。
①法定代理人 (親等) の場合は、氏名、生年月日、住所、電話番号を記入し、押印してください。
②弁護士である場合は、氏名、事務所の名称、所在地、電話番号を記入し、押印してください。
申請手続の代理人になれる者・・・法定代理人・弁護士、弁護士法人

※一般承継人

被害者本人から、その財産などを相続した人のこと。

申請期限 令和5年12月25日 (月)

裏面へ

裏面

○犯罪行為により失われた財産の価額記入欄

被害にあわれた状況		別紙のとおり					
支給を受けようとする金額	犯罪行為により失われた財産の価額	(価額算定の根拠) 別紙のとおり					
	控除対象合計額	0 円					
	(内 訳)						
	てん補又は賠償を受けた年月日	てん補又は賠償をした者の氏名又は名称(犯人との関係)	てん補又は賠償を受けた者の氏名又は名称(被害者等との関係)	てん補又は賠償額			
	令和〇〇年〇月〇〇日	* * * * *	法務三郎	〇〇万円			
	年 月 日	()	()	円			
支給を受けるべき被害回復給付金の額の割合についてその内容		<input checked="" type="checkbox"/> 合意はない <input type="checkbox"/> 以下の合意がある					
施行規則第8条第1項第8号に定める他の申請人等の氏名又は名称及び住所等		フリガナ 氏名又は名称 住 所 (〒) (電話番号又はファクシミリ番号)					
合意の内容							
払渡しを受ける機関その他のその払渡しを受けるために必要な事項	口座名義人(貯)	フリガナ ホウム タロウ					
	氏名(法人の名称)	法務太郎					
	住(居)所等	〇〇県〇〇市〇丁目〇番〇号 〇〇アパート〇号室					
	金融機関	〇〇 銀行 信用組合 協同組合 本店(所) 支店(所) 出張所					
預金種別	1. 普通預金 2. 当座預金						
口座番号	1 2 3 4 5 6 *						
郵便局	通帳記号						
その他の必要な事項							

「別紙被害状況」で算出した合計の総額を記入してください。

○てん補 又は賠償関係記入欄

・犯人又はその弁護人などから、被害額にてん補又は賠償(下記※参照)を受けていない場合は「控除対象合計額」欄に「0」と記入してください。

・被害額にてん補又は賠償(下記※参照)がなされた場合は内訳欄に記入した上、「控除対象合計額」欄にその合計額を記入してください。

○給付金額の割合に関する合意の有無欄

どちらかに必ず「✓」してください。

同じように今回の申請をする他の人との間(被害者間)で、支給を受ける給付金の割合について、合意がない場合は「合意はない」に「✓」を付け、次の欄の記入は不要です。

合意がある場合は「以下の合意がある」に「✓」を付け、合意した申請人等の氏名・住所・電話番号、合意の内容を記入してください。

※てん補又は賠償
 犯人側から被害者に対し、配当金・元金・示談・賠償金などの名目で、又は銀行や保険会社等から保証金・賠償金の名目で支払われた金銭のこと。

○被害回復給付金の振込先口座記入欄
 被害回復給付金の振込先口座は、申請人名義の口座となり、それ以外の口座へは支給できません。また、ネット銀行口座への支給もできません。
 なお、口座がないなどの事情がある方は、「その他の必要な事項欄」に事情を記入してください。

申請書は記載例をよくお読みの上、ご記入願います。
 添付書類については、同封の書類をご確認願います。

注意 申請書又は添付書類に虚偽の記入をして提出した者は、50万円以下の罰金に処することとされています。